



第11号

発行日：平成26年10月11日

発行：宇都宮市青少年自立支援センター

ふらっぷだよ

Dさん

20代男性。大学入学後ひきこもり状態となり中退。そのまま、4年が経過。



青少年自立支援センター「ふらっぷ」では、ニート・ひきこもり、非行など青少年の悩みごとの相談をお受けしています。

自立に向けての悩みは、「就活がうまくいかず落ち込んでいる」「社会に出ていく自信がない」など様々です。一人ひとり悩みをどう乗り越えるか、相談員と一緒に考えながら、少しずつ歩み出しています。今回紹介するDさんは、青少年支援関係団体との連携により就職につながったケースです。

「経験者」の厚い壁

Dさんは、難関大学に合格したものの、大学生生活に順応できず退学し、家にひきこもるようになりました。

このような生活の中でも勉強を続け、パソコンの国家資格を取得しましたが、就職せずに年齢を重ねたことで、ハローワークの求人票にある「経験者」の文字が厚い壁となり、就職に消極的になってしまいました。

日間セミナーに参加してみました。

このセミナーでは、面接術などを学ぶほか、キャリアに関する相談をすることもできました。このセミナーを通して、Dさんはその真面目さが支援機関から評価され、支援機関の仲介により就職へ進むことができました。

そして、自分に正面から向き合い、現在も丁寧に仕事を進めています。

セミナー参加から就職へ

Dさんはふらっぷに通いながらパソコンの資格や真面目な性格を生かせる仕事を探しましたが、中々そのような仕事にもめぐり合えず、就職試験の不合格が続き、気持ちが沈み込む日を送っていました。

そのような中、ある就労支援機関が実施する就職セミナーの開催を知り、気は進まないものの、ふらっぷの相談員に背中を押される形で3



「ふらっぷ」が第一歩

Dさん

「一度道からそれてしまうと元の道に戻るのハードルが高い。」今思い返すと、それは自分の思い込みに過ぎませんでした。僕にとって、ふらっぷに来たことが元の道に戻る第一歩でした。

僕と同じように苦しんでいる人には、あまり深刻に考えずに「わりと、どうかなるものだ」と伝えたいです。



ふらっぷからDさんへ 「自信を持ってもっと前へ」

「就職」はこれまで続けてこられた努力が実ったものです。これからは自分の力を信じて、自信を持って更に前へ進んでください。



ナイチュウ

新たな相談窓口「ポラリス☆とちぎ」

県が子ども・若者、ひきこもりの相談窓口を開設

相談窓口がさらに充実

貧困、少子高齢化、不安定な就業状況など、若者を取り巻く厳しい環境の中、栃木県がひきこもりやニート、不登校等の様々な相談を受ける相談窓口「栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター（愛称：ポラリス☆とちぎ）」を、今年10月、宇都宮市内に開設しました。市内には、ニートやひきこもり、非行などの相談をお受けしている宇都宮市青少年自立支援センター（中央1丁目）や、若者サポートステーション（駅前通り1丁目）など、若者の自立を支援する機関団体がありますが、相談する窓口が増えることで、さらに相談者一人ひとりに寄り添った充実した支援を行うことが可能となりました。

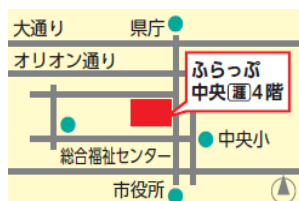
悩んでいるご本人はもちろん、お知りあいの方でお困りの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、ご利用ください。

「ポラリス☆とちぎ」の概要

栃木県では、ひきこもり、ニート、不登校等の社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者等の相談をお受けする総合相談窓口「ポラリス☆とちぎ」を下記のとおり、開設しました。

1. 場所 下戸祭2丁目3-3
2. 利用時間 午前10時～午後7時。
火～土曜日（祝日、年末年始を除く）。
3. 相談専用電話 028-643-3422
4. 業務内容 青少年の自立支援相談、ひきこもりの相談、訪問支援

青少年の総合相談窓口 「ふらっぶ」



- ◇相談専用電話 028-633-3715
- ◇相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時
（受付は午後4時10分までです）
（但し祝休日、年末年始は除く）
※予約の上お越しくください。
- ◇所在地 中央1丁目1番13号
中央生涯学習センター4階

作家・落合恵子さんによる 非行防止講演会のお知らせ

- 日時：11月21日（金）
午後1時40分～3時
- 場所：宇都宮市文化会館 大ホール
- 演題：「大人と子ども 同時代を生きる
ひとりひとりが主役の社会を」
- 定員：先着120人
- 申込：11月4日（火）より直接または
電話で青少年自立支援センター
（635-5834）へ